

# 心に残る文化財子ども塾 川本町立川本中学校

## 1. 活動の概要

6月18日(火)、川本町立川本中学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

まずはじめに、石見銀山世界遺産センターのスタッフから、石見小笠原氏を中心とした川本町の歴史と文化財に関するレクチャーを聴きました。資料を用いながら、縄文時代から始まるこの土地の歴史や、小笠原氏と石見銀山の関係に至るまで、生徒達はとても興味深く聴いていました。

次に、バスで見学に回る先である、木谷の九重石塔・三原丸山城・弓ヶ峯八幡宮などの解説を聴きました。

全員でバスに乗り込んで、まず木谷の九重石塔を訪れました。普段目にする事の少ない道路の脇に入った場所にある石塔に、生徒達は驚いた様子でした。

当初計画していた三原丸山城が足場が悪かったため、急遽正連寺を訪れました。石見三大門であるという解説を聴きながら、山門を見学したところ、普段見ている門がそんなすごいものだったのか、という感想も聞かれました。

最後に訪れた川本町内の弓ヶ峯八幡宮では、鎌倉時代から続く歴史に加え、狛犬や灯籠などの石造物が時代により様々な場所の石で作られているという話にとても興味を持っているようでした。身近なところにある、歴史の奥深さや意外な発見に触れ、楽しい時間になったようです。

## 2. 活動の様子

### 1)川本町の歴史と文化財に関するレクチャー(小笠原氏を中心として)



### 2)現地見学



木谷の九重石塔



正蓮寺



弓ヶ峯八幡宮

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童の皆さんから…

- ・九重の井戸碑の石塔が印象に残った(なぜここにあるのか不思議に思えた)。
- ・井戸公の石碑が島根県内各所にあることがわかった。
- ・何度も見ていた正蓮寺の門のすごさがわかった。
- ・狛犬がいろんなところの石で作られているのが印象的だった。

#### 2) 担任の先生から…

- ・現地に出る前にレクチャーがあったので、見通しを持って活動することが出来た。

#### 3) 世界遺産室から

当日はあいにくの雨模様になりましたが、自分たちの住んでいる身近な地域の意外な発見に、興味を持った生徒さんが多かったように思います。今回は石見銀山との関わりということで小笠原氏のお話を中心に進めました。そこから石見銀山そのものの歴史に触れていってもらえると、より興味が深まると思います。